

《基礎教育科目 基礎教育科目 必修》

科目名	基礎演習				
担当者氏名	白井 由希子、飯尾 雅昭、川野 敬子、小谷 朋子、村上 成治、高村 公一、山田 薫、吉見 英里、久保 葉子、糠野 亜紀				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・必修	開講年次・開講期	1年・通年(前期)
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等					

《授業の概要》

短期大学での学びは、高等学校までの学びよりも主体性と自律性が求められます。そこで基礎演習では各回をクラス編成・横断編成・ゼミ編成に分け、テーマに沿って協働学習します。その中で、短期大学での「学び方」と常磐会短期大学生に求められる学習技術の獲得。 本学の行事を行うにあたり、クラスの活動を通してコミュニケーション力や協調性、柔軟に考え、対応する力など、保育者に求められる力の習得。 クラス、そしてクラス外にも輪を広げ、共に学ぶ仲間との関係を築く。この3つの目標を掲げ、基礎演習は一年をかけて学びます。そして、保育者として漢字の読み書きも重要です。入学前課題で使ったテキストを用いた漢字学習を毎回の授業の冒頭に行います。

《授業の到達目標》

短期大学における学びを理解し、日々の学習に積極的に参加できる。
常磐会短期大学生に求められる様々な学習技術を獲得する。
保育者として必要な知見を獲得する。
常磐会短期大学の理念を理解し、行事を通して創造力や協働する力を養う。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度・発表など）、課題（提出物）、漢字テストをもとに合否を判定します。
入学前教育の課題を提出していることが前提です。

《参考図書》

『授業概要』、『学生便覧』、『履修要覧』を必ず読んでおきましょう。

《教科書》

基礎演習に必要なテキストは常磐会短期大学独自のものを使用します。履修オリエンテーションと授業の中で説明をしますので、それらを忘れないように持参し、受講しましょう。また、入学前課題で使用した漢字テキスト『これだけは知っておきたい わかる・書ける・使える 保育の基本用語（改訂版）』（長島和代編 2017 わかば社）と練習用ノートも活用します。

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：L01
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：・
保育士：・

《担当教員の実務経験と授業の関連》

なし

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	○入学前課題の提出 ○ホームルーム（クラス委員の説明・わたしの名刺作り）○基礎演習について（スケジュール他） ○避難行動マニュアルの確認 / 1年間の授業の概要・スケジュールを確認する。【30分】
2	学びに繋げる	○常磐学 ○常磐会短期大学の学び（卒業するまでに必要となる力）○漢字練習の方法（保育者に求められる漢字力育成）/ 学生自身が主体的、自律的に授業を履修する重要性を理解する。【30分】
3	クラスで実践	○クラス委員の決定 ○行事について（スポーツフェス・文化祭）/ 常磐会短期大学の行事を理解する。そして、クラス集団での活動がお互いに安心感を持って行えるようにする。【30分】
4	クラスで実践	○スポーツフェスの準備 / クラスの中で自分の役割を見つけ、クラスの友達と支え合いながら活動を進められるようにするために必要なことを考える。【30分】
5	伝える実践	○履修カルテについて（目標の書き方と振り返りについて）○KJ法の技法（実習に向けて）/ 思考の整理技法を生かし、実践の内容を考える。【30分】
6	遠隔授業	○Teams「会議」を使って（実習に向けて）/ Teams「会議」の使い方に慣れる。実習で不安に感じていることをお互いに出し合い、必要な準備物を実習までに整える。【30分】
7	伝える実践	○ワールドカフェの技法（実習を終えて）/ 情報を収集・共有・整理する技法について理解する。【30分】
8	クラスで実践	○文化祭について / 文化祭の内容を理解する。クラスで意見を出し合いながら、出し物を決める。【30分】
9	クラスで実践	○文化祭について / コロナの状況も踏まえ、遠隔でも実施できるような内容・方法を考える。クラスの皆が楽しく活動ができるよう、お互いの気持ちを受け止めながら活動を進める。【30分】
10	学びに繋げる	○漢字テスト ○前期試験に向けて ○保育実践演習（ゼミ）の選択について / 2 回生科目「保育実践演習（ゼミ）」の学習内容と教員の研究内容を理解し、希望するゼミを選択する。【45分】
11		
12		
13		
14		
15		